

事務事業名	市民文化祭事業	事務事業No.	20202000624	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
市民の文化芸術・生涯学習活動の成果発表、展示発表を行い多くの市民が鑑賞する機会を設ける。心豊かで潤いのある桜川市の文化振興に寄与することを目的として開催。令和2年度は新型コロナウイルスにより催事の中止が約半数にも及び、実施できた催事も開催方法の見直しが必要となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成28年度から文化協会を専門部制に再編したことにより、市民文化祭の開催についても、専門部を中心として運営を行いスムーズの開催することができた。各催事とも参加者の貴重な発表の機会、交流の場として市の文化振興に寄与することができた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習、芸術文化活動の推進に整合する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の文化芸術活動の発表の場を提供している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 文化協会の専門部を中心に開催することで、専門性の高い催事に発展できる可能性がある。また、若年層の出演、出場が少ないことから、何らかの企画を試み、広く文化振興を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の文化活動の成果を発表する機会や場所がなくなることになり、生涯学習、文化活動の促進が図れない。市の文化振興が低下する。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市民文化祭は日頃の文化活動を発表する年に一度の機会となっており、それを励みに年間の活動をしている個人・団体が多数存在するため、廃止する余地はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 各催事を開催するにあたり、最低限の事業費であるため削減は難しい。専門部での活動が少しずつ自立してくれば、人件費の削減は可能であるが、まだ時間を要すると思われる。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民文化祭ということで、市広報誌やHP、チラシ等で広く一般参加者を募り、実施している。催事によっては、文化協会加盟団体だけではなく、一般市民や市内高校生の団体などが参加できる文化祭として認識されてきている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	新型コロナウイルス等の影響により、6つの催事が開催できなかった。そのため、市からの補助金を使い切らなかったため、余剰金を返金した。コロナ下にあっても工夫して開催できた催事もあったことから、次年度以降はコロナ下でも開催できるノウハウを積むことができた。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○				X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		X	X	X																	
新型コロナウイルスの影響は令和3年度も続く予想されることから、令和2年度に取った対策の応用や、反省点などの検討が必要となる。 コロナ以前からの問題として、出品者や出演者の高齢化が進んでいることから、公民館講座や自主講座参加者以外も催事に参加しやすくなるような仕組みが必要となっている。 また、作品展や短歌、俳句大会などは学校からの応募が多いが、市内の少子化が進んでおり、今後その影響が出品数の減少や、子どもの作品を見に来る来場者数の減少として現れてくる恐れがある。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>